

進路通信

2021年4月30日発行 第1号

青森県立青森中央高等学校

進路指導部



令和3年度新学期スタート



新入生の皆さん、青森中央高校へようこそ。ガイダンスでも述べましたが、学習に部活動に、そして校外活動に積極的に挑戦し、自分を成長させていってください。2・3年次の皆さんは進路実現に向けて今よりも一歩前進させてください。進路指導部でも皆さんに情報提供と相談を行っていきます。



【令和2年度を振り返って…進学編】

主な四年制大学	学部	学科	
青森公立大	経営経済	経営	1
青森県立保健大	健康科学	看護	1
秋田公立美術大	美術	美術	1
青森中央学院大	経営法	経営法	6
	看護	看護	6
青森大	ソフトウェア	ソフトウェア	1
	社会	社会	1
	総合経営	経営	6
	薬	薬	2
弘前医療福祉大	保健	医療技術	2
		看護	2
弘前学院大	文	日本文学	1
	看護	看護	1
八戸工業大	工	システム情報工	1
	感性デザイン	創生デザイン	1
東北学院大	経営	経営	1
	経済	経済	1
東北福祉大	総合福祉	社会福祉	1
東北文化学園大	工	臨床工	1
仙台大	体育	体育	2
明治大	文	史学地理	1
東京理科大	理学第二部	数学	1
日本大	工	情報工	1
		土木工	1
	生物資源	生物環境工	1
東海大	体育	競技スポーツ	1
大阪芸術大	美術	工芸	1

[大学進学者 54名]

国公立大学 3名 私立大学 51名

[短期大学進学者 25名]

[専修各種学校進学者 71名]

昨年度は学校見学にも行けず、オンライン説明会で受験校を決定した人もいました。今年度は、オープンキャンパスが対面式か WEB開催のどちらで行われるか分かりませんが、情報をしっかり確認し、チャンスを逃さないようにしましょう。

進学希望者の多くが学校推薦型・総合型(AO)選抜で合格しています。校内の推薦条件には、大学・短大・医療系専門学校進学者は、3年次で模擬試験を受験し、進学対策講習を受講していることとあります。模擬試験は1学期から実施しているので、推薦願を提出する前に、必ず受験しておきましょう。

学校推薦型・総合型(AO)選抜は、3年次の夏・秋に受験するので、志望校を早く決定し、1年次から部活動、校外活動、資格取得に積極的に取り組み、各自で活動報告書にまとめるようにしてください。

主な短期大学	学科	
青森中央短期大	幼児教育	11
	食物栄養	3
青森明の星短期大	子ども福祉未来	1
柴田学園大学短大	保育	1
函館短期大	食物栄養	2
仙台青葉学院短大	看護	2
	歯科衛生	1
女子美術短期大	造形	1
桐朋学園芸術短大	芸術家演劇専攻	1

【令和2年度を振り返って…就職編】

〔県内就職 20名〕

事務職系	販売系	サービス系	事務職・サービス系
(株)青森銀行	(株)業務サポートサービス	(株)木村タイル工業	野口観光(株)
(株)ユアテック	(株)コメリ	(株)トヨタレンタリース青森	佐藤税理士法人
(株)太陽不動産	北日本石油(株)青森支店	青森県すこやか福祉事業団	モットーキュー(株)
総合環境計画(株)	ヒロフーズ(株)	慈恵会	(株)湯沢グランドホテル
日本原燃(株)	(有)アンジェリック	(株)サカイ引越センター	(株)第一ビルメンテナンス
	(有)ジークフリート		千房(株)

〔県外就職8名〕

東京地下鉄(株)
(株)ワークステーションMEG

〔公務員(国家・地方) 9名〕

自衛官候補生(4)・一般曹候補生(2)
青森県職員(教育事務)
青森市職員(機械職)
青森県非常勤事務員



就職試験に関しては、コロナ禍の影響が強かった一年でした。首都圏で働きたいという希望の生徒が県内就職に切りかえるケースも多くありました。また、飲食サービス業・宿泊業の求人件数が減少し、選考方法も時間短縮のせいなのか、グループ面接や、ディベート討論を行う企業も見られました。今年度も状況は一変するとは考えにくく、就職希望者は職種の選択肢を広げる必要があると思います。

公務員試験は行政職への合格者が増加しました。自衛官・行政職の合格者に共通しているのは、勉強に向かう姿勢が人一倍しっかりしていたことと、先生方のアドバイスを素直に受け入れる柔軟さを持ち合わせていたことです。そして、自ら動いて学ぶことを継続していました。

山田晴香さん(平成29年度卒業生)ベンチャー企業を創業し代表取締役就任する

東奥日報(4月13日付)から本校卒業生が活躍している記事を紹介します。

山田晴香さんは、現在青森公立大学4年生です。昨年、同じ所属のゼミ生3人と「わとな株式会社」を立ち上げました。山田さんたちが昨年のコロナ禍の中、売り上げが減少した青森市内の飲食店を支援する「あおり TAKE OUT」のサイトの運営を手伝ったところ、閲覧者が最大で1日約4万回を超えた日もあったそうです。山田さんはこのゼミ活動を通して、「情報を求めている人へ、必要な情報を的確に伝える大切さ」を実感したそうです。そして、ついにICTを活用して青森県の課題解決に役立つプラットフォーマー(支援サービス提供者)を目標に起業しました。

山田晴香さんは「わとな株式会社」のホームページの中で、「高校時代に青森県を訪れる外国人観光客向けにホームページを制作したことが創業の導火線になった」と語っています。高校時代の山田さんの「あすなる学ノート」の記録によると、①青森中央学院大学の留学生にインタビューし、青森市内のバスの本数が少なく、バスの乗り方がよくわからないという意見に着目した。②外国人観光客の不便を解消する方法を考えた。③独自のバスマップを紹介するイラストを制作した。とあります

あすなる学の学習の仕方です。先輩から学んで欲しいこと(情報の収集)

- ◎インタビューや現地調査を行うことによって生の声が聞ける。
- ◎マイナスの意見に着目し、それを自分の手でどのような解決方法があるか考える

